

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成30年9月4日掲載)

貸出と予約の開始は9月4日(火曜日)、インターネット予約の開始は9月11日(火曜日)です。

『大人は泣かないと思っていた』

寺地 はるな／著

集英社

隣の老婆が庭のゆずを盗む現場を押さえると父から命じられた翼。ところが、捕らえた犯人もその目的も、まったく予想外で…。表題作をはじめ、人生が愛おしくなる、魔法のような物語全7編を収録。『小説すばる』掲載を書籍化。

著者は佐賀県出身。

請求番号：F/Te,42

『知られざる北斎』

神山 典士／著

幻冬舎

モネ、ゴッホはなぜ北斎に熱狂したのか？北斎が晩年に通い、肉筆画を極めたという長野県小布施には、何があったのか？パリの天才画商・林忠正と、小布施の豪商・高井鴻山にスポットを当て、北斎とジャポニズムの謎を解く。

県関係では、佐賀県出身の松尾儀助が紹介されている。

請求番号：721.8/Ko,97

『風土記説話の表現世界』

谷口 雅博／著

笠間書院

常陸・出雲・豊後・肥前・播磨国の風土記を対象に、文学テキストとして神話・説話を検討。構成や配列意識も含め、文学作品としての意義・価値を位置づけ、風土記作品論のあらたな可能性を切り拓く。

県関係では、肥前国風土記について紹介されている。

請求番号：913.2/Ta,87

[👉バックナンバーはこちら](#)

[→インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の到着資料一覧

[→詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。
郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)